

施策評価シート(令和4年度実績評価)

◎施策の基本情報

政策No	0206	政策名	健康づくりの推進	施策主管課	健康づくり課	課長名	長山 義博
政策の目指す姿	心身ともに健康に暮らしています						
施策No	01	施策名	健康づくりの支援	関係課名			
施策の目指す姿	健康に対する意識が高まっています						
現状と課題							
<p>【現状】</p> <ul style="list-style-type: none"> 朝食を食べる人の割合については、学童期で増加し改善している一方で20歳、30歳代の若い世代で改善されていない状況です。 健康のため食事に気をつけている市民の割合は約5割、意識的に運動をしている市民の割合は約3割と、健康への意識が低い状況です。 令和4年の状況では、花巻市民の国保加入者の13.9%が糖尿病と診断されています。特定健診未受診者や医療機関未受診者の存在を勘案すると、この割合がさらに高くなることが想定されます。 本市の自殺死亡率は横ばい傾向ですが、岩手県、全国の数より上回っています。 感染症の発生や蔓延を予防するため、法に基づく予防接種を実施しています。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> 幼児から若い世代に対し、将来の健康問題が発生する可能性を抑えるために、朝食を食べる習慣の啓発が必要です。 健康的な食事や運動習慣の必要性について理解していても行動に移せない市民へ、正しい食事の方法や運動の習慣化の啓発が必要です。 糖尿病についての正しい理解と、健（検）診による早期発見、早期受診のほか、糖尿病予防のための食生活や運動などの生活習慣の改善に向けた取組が必要です。 体の健康のほか、「こころの健康（自殺予防）」への取組も重要になっています。 予防接種について対象者が必要性を理解し接種されるよう、周知する必要があります。 治療により脱毛等外見の変化が生じてしまったがん患者が、安心して療養生活をおくる、また治療と仕事の両立など社会参加に取り組むための支援が必要です。 新型コロナウイルス感染症のまん延予防に対して早急な対策が必要です。 							

◎前年度の評価の振り返り

前年度評価時の今後の方向性
<ul style="list-style-type: none"> 「クックパッド」アプリは、全国的に広く利用されており、本市でもこれを活用した食育の普及啓発を開始したが、この活動の市民への周知が十分ではないことから、掲載する献立をさらに拡充するとともに、この取組み及びアクセス方法等の周知をさらに進める。また、現状のコロナ感染状況下においては、徐々に人と人との交流再開の兆しが見えており、この中において、スーパーなど地域の住民が集まる場にブースを設け、地域食生活改善推進委員による人と人との交流の中での食育普及活動を新たに展開していく。 働き盛り世代も気軽に運動に取り組むことができるよう、運動の機会の創出と習慣化するまでの継続支援の一環として、ウォーキングに着目したインセンティブ事業を新たに実施する。スマートフォンアプリにより、どなたでも気軽に参加できる仕組みとする。 検診受診率向上に向け、各検診会場におけるコロナ感染拡大防止対策の徹底と、このことを交えて、検診の重要性を市民に粘り強くお知らせするとともに、土日、夕方の検診機会を引き続き設けながら、受診しやすい環境づくりに取り組む。

反映状況

<ul style="list-style-type: none"> レシピ検索サイト「クックパッド」内に花巻市公式ページを立ち上げ、レシピを年16回掲載したほか、団体向けに希望制で開催していた食育講座に、個人も参加できる病態別食生活改善をテーマとした講座を拡充し、年6回実施した。また新たに、花巻市食生活改善推進員協議会と協働で、毎月19日の「食育の日」をはじめ年31回、食品小売店舗において市民へ地産地消や食育に関する情報を掲載した資料を配布し、「食育普及活動」を展開した。 運動の機会の創出と習慣化を支援する一環として、スマートフォンアプリを活用したウォーキングの歩数に応じてポイント付与する「健康ポイント事業」を実施しインセンティブ事業を実施したほか、医師、歯科医師、栄養士による肥満予防をテーマとした市民講座を開催し、また、運動の実演動画をWebで市民へ広く配信し、広く普及啓発を図ることができた。 検診受診率向上に向け、委託先機関と協働して徹底したコロナ感染予防対策を継続し、その取組みを市民へ周知しながら受診者の不安解消に努めるとともに、土日・夕方の検診も実施し、受診しやすい環境づくりを進め、受診者数の引き上げにつなげた。
--

1 施策の目指す姿の実現に向けた主な取組

<p>(1) 健康づくりや健康寿命を延ばす取り組みの支援</p> <ul style="list-style-type: none"> 食事や運動、正しい健康情報の普及啓発：健康アップ講座の開催 望ましい食生活や運動の実践など健康づくりへの支援：健康アップ講座、健康ポイント事業、食育講座の開催、Webを活用した普及活動 医師会や歯科医師会など関係機関と連携した各種健康講座などの実施：健康アップ講座の開催 口腔機能の維持の重要性など、歯科保健の普及啓発と歯科健（検）診の実施：成人、妊婦歯科検診の実施 市民一人ひとりが生涯を通じた健康づくりを進めるための食育に関する知識の普及啓発：食育講座、食育普及活動、食生活改善伝達講習会、食生活改善推進員養成講座の開催 花巻市自殺対策計画に基づいたこころの健康づくり：ゲートキーパー養成講座の開催、Webを活用した心の自己診断「こころの体温計」の提供 がん患者に対し、医療用補助具（医療用ウィッグ、乳房補正具）の購入費用の一部助成 <p>(2) 生活習慣病の予防の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> 生活習慣病予防に向けた自己管理（セルフケア）の普及啓発と支援：健康づくりフロンティア事業、自動血圧計の貸出 健（検）診の受診率向上と個別の特性に応じた保健指導の実施：未受診者への受診勧奨、特定保健指導の実施 花巻市糖尿病性腎症重症化予防プログラムに基づいた保健指導の実施：対象者への保健指導の実施 <p>(3) 感染症予防の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> 予防接種の実施と普及啓発：各種予防接種の実施、中学生以下の子ども及び妊産婦のインフルエンザ予防接種へ費用助成、市ホームページ、広報はなまき、コミュニティFMや保育園へのチラシによる啓発の実施 新型コロナウイルスワクチンの円滑な接種体制の整備と接種の実施及び各公共施設における感染予防物品の確保、市内4地域での集団接種及び医療機関における個別接種体制の確保、新型コロナウイルスワクチン接種、消毒用アルコールや抗原検査キットの確保
--

2 成果指標

成果指標名	成果指標設定の考え方	成果指標の測定方法	単位	区分	H31	R02	R03	R04	R05	R06
食事に気をつけている市民の割合	自分自身の健康維持・増進への取組として、普段から食事に気をつけているかどうかを示す指標	出典：市民アンケート 問：あなたは、健康管理について、日常生活の中で取り組んでいることがありますか。 (1)～(10)のなかで(4)食事に気をつけているを選んだ市民の割合	%	目標値	62.40	62.40	62.40	50.60	50.60	
				実績値	54.80	47.50	45.70	46.45		
健康増進のために意識的に運動をしている市民の割合	自分自身の健康維持・増進への取組として、意識的に運動しているかどうかを示す指標	出典：市民アンケート 問：《健康管理》あなたは、健康管理について、日常生活の中で取り組んでいることがありますか。 (1)～(10)のなかで(3)健康増進のために意識的に運動しているを選んだ市民の割合	%	目標値	42.20	34.00	35.00	36.00	37.00	
				実績値	33.10	27.60	28.10	27.70		
定期的に健康診断などを受けている市民の割合	自分自身の健康維持・増進への取組として、定期的に健康診断を受診しているかどうかを示す指標	出典：市民アンケート 問：《健康管理》あなたは、健康管理について、日常生活の中で取り組んでいることがありますか。 (1)～(10)のなかで(1)定期的に健康診断などを受けているを選んだ市民の割合	%	目標値	74.00	76.50	76.70	76.90	77.00	
				実績値	76.77	70.10	72.00	72.10		

3 成果指標の達成状況

達成度	達成状況に関する背景・要因
C	<p>■成果指標「食事に気をつけている市民の割合」・・・【達成度b】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・目標には達していないものの、増加に転じた。市内の新型コロナウイルス感染状況を踏まえながら、各地域での食生活改善伝達講習会、市内企業を対象とする食育講座に加え、新たに個人を対象とした食育講座を夜に開始し、また、市内スーパーで食育普及活動を行うなどした成果が表れてきたものと捉えている（食生活改善伝達講習会: R3 23回、R4 27回） <p>■成果指標「健康増進のために意識的に運動をしている市民の割合」・・・【達成度c】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・年代別のクロス集計では、15歳から19歳、30歳から59歳、70歳以上では、昨年度より増加した。働き盛り世代をターゲットとして実施した「健康ポイント事業」の効果がうかがえるが、60歳から69歳の減少幅が大きく、全体では昨年度を下回った。60歳から69歳の割合は、働き盛り世代に近い値になりつつあり、就労期間の延長などの影響もあるものと思われる。 <p>■成果指標「定期的に健康診断を受けている市民の割合」・・・【達成度b】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・引き続きコロナ禍での事業実施となったが、市民が安心して健診を受けられるよう感染予防を徹底しながら、土日・夕方の検診なども計画通り実施し、追加検診も実施する中で、目標値には達していないものの、受診率は増加した。徐々に受診控えの傾向は落ち着いてきたと思われる。

4 施策を構成する事務事業の検証

①市民のニーズや市の関与の必要性が低下した事業、②投入コストの割に成果が低い事業、③施策への貢献度の低い事業はないか
なし
<p>施策の目標を達成するため、さらに成果の向上を図る事業はないか</p> <ul style="list-style-type: none"> ・（食生活改善推進事業）食育の啓発と情報発信の一環としてレシピ検索サイトへの健康献立の掲載など、Webを活用した啓発を開始したが、一方で、）新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、食生活改善推進委員による地元での食生活改善伝達講習会や食育講座など、対面での普及啓発活動に制限があったことから、今後はこれらの事業を可能な限り実施するとともに、市民とふれあいながら食育を伝達できる機会の充実を図る必要があると考える。 ・（健康づくり推進事業）新型コロナウイルス感染症の影響が落ち着いてきた現在、保健推進委員の普及啓発活動が地域と行政との架け橋として健康づくりの推進のために効果的に機能するよう、活動内容を行政とともに検証しながら、取り組みをさらに進める必要がある。 ・（感染症予防事業）新型コロナウイルスの感染が続く中、インフルエンザ、麻しん・風しんの予防接種率はともに低下した。引き続き予防接種を含めた感染症予防に対する正しい知識や情報を、適切な時期を捉えて周知し、予防接種の接種率向上を図る必要がある。
新たに取り組むべき事業はないか
<ul style="list-style-type: none"> ・（健康診査事業）がん検診の受診率は増加している一方、特定健診については、市医師会とも連携しながら広報活動を進めているが、受診率は50%前後で留まっていることから、より効果的な受診勧奨の対策について、専門的な知識を有する外部機関の協力を得ながら進める必要がある。

5 施策の総合的な評価

課題
<ul style="list-style-type: none"> ・食事に気を付けている市民の割合は、コロナ禍を経て増加に転じたが、微増であり、食事は市民一人ひとりの生涯を通じた健康づくりの基本であることから、食事に関する知識や技術の普及・啓発をさらに進める必要がある。 ・令和4年度から、運動が不足している働き盛り世代を中心に、運動のきっかけと定着を図るため、ウォーキングに取り組むことによりインセンティブを与える「健康ポイント事業」を実施し、1,000人を超す参加があったが、2期のうち1期は冬期間であったこと、1期の期間が3カ月であったことから、事後アンケートでは、改善を求める意見が寄せられている。 ・特定健診は、広報はなまきや市ホームページなどで適時に市民へ周知と受診の呼びかけを行っているが、この数年、受診率の向上が見られない。有識者の協力を得ながら、対策を講じる必要がある。
今後の方向性
<ul style="list-style-type: none"> ・レシピ検索サイトに行政単独ではなく、食生活改善推進員協議会、県、JA等の関係機関と連携し、郷土料理や市民から公募したレシピを掲載して、より充実した情報発信を行う。また、食生活改善推進員と協働により、健康に配慮した料理のデモンストレーションや試食などの活動を拡充し、食事に関する知識や技術の普及・啓発を対面とオンライン双方を活用して行う。 ・健康ポイント事業について、降雪時期と実施とならないよう実施期間を見直ししながら、取り組みやすさ・やりがいの向上を視野に改善を行う。 ・AIにより健診の対象者を分類し、その結果にあった内容にカスタマイズして勧奨することで、受診率向上を図った実績を有する、外部機関の協力を得ながら、受診勧奨を実施する。

施策を構成する事務事業一覧

No	事務事業名 事業内容(活動実績)	担当課	施策への貢献度		成果
			対象	意図	
010	健康教育相談事業費	健康づくり	一致	直結	B
	健康相談や健康教育を実施 (健康講座、健康相談の参加者数2,233人)			A	
020	健康づくり推進事業費	健康づくり	一致	間接・補完	C
	保健推進委員による地域への普及啓発を実施 (保健推進委員の事業協力者数1,178人、献血本数(200ml)4,123本)			B	
030	食生活改善推進事業費	健康づくり	一致	直結	C
	食生活改善推進員により生活習慣病予防に関する知識の普及を実施 (食生活改善伝達講習会27回)			A	
040	健康診査事業費	健康づくり	一致	直結	C
	各種がん検診を実施 (受診率大腸がん36.3%、乳がん40.8%、子宮頸がん32.6%)			A	
050	歯科保健事業費	健康づくり	一致	直結	B
	成人歯科健診、歯周病予防検診を実施 (歯周病予防検診受診率16.8%)			A	
060	保健センター整備事業費	健康づくり	間接・少数	間接・補完	-
	公共施設マネジメント計画に基づきR2年度～R5年度に花巻保健センターの施設改修を行う。令和4年度は花巻保健センターの空調設備改修(第2期)及び花巻保険センターの駐車場整備を実施。			C	
070	感染症予防対策事業費	健康づくり	一致	直結	C
	予防接種法により各種予防接種を実施 (風しん・麻しん混合2期の接種率92.2%、インフルエンザ予防接種率(こども)48.8%)			A	
080	医療用補正具購入支援事業費	健康づくり	一致	直結	-
	がん患者に対し、医療用補正具(ウィッグ、乳房補正具)購入費の一部を補助 (医療用ウィッグ購入補助31人、乳房補正具4人)			A	
150	骨髄ドナー支援事業費	健康づくり	一致	間接・補完	-
	公益財団法人日本骨髄バンクが行う骨髄・末梢血管細胞提供あっせん事業において骨髄等の提供を行った骨髄ドナー、または骨髄ドナーが勤務先からドナー休暇を取得した場合はその勤務先へ補助金を交付			B	
160	感染症予防緊急対策事業費	健康づくり	間接・少数	直結	-
	市施設や教育・福祉施設等で使用するための消毒用アルコール、抗原定性検査キットを感染予防物品として確保 (消毒用アルコール142缶(2,414リットル)、抗原定性検査キット48,175回分)			B	
170	新型コロナウイルスワクチン接種事業費	健康づくり	一致	直結	-
	市内4地域での集団接種及び医療機関における個別接種体制を確保し、乳幼児から高齢者まで新型コロナワクチン接種を希望する市民へ接種を実施			A	